

東日本大震災被災地支援活動



- 2面・暮らしを彩るパソコン教室
 - ・お知らせ
- 3面・パソコン豆知識・クイズ
 - ・ふれあい
- 4面・最近の活動から
 - ・総務担当より
 - ・編集後記



東日本大震災被災地支援活動

東日本大震災からひと月、被災地の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と日常生活への復帰ができることを願っております。

ユニコムかつしかでは、3月22日～31日にかけて、事務所において東日本被災地への救援物資や募金の受付を行いました。

これはユニコムかつしかと葛飾区の協働事業として実施している地域SNS「かちねつ」とが、兵庫県の地域SNS「ひよこむ」の呼びかけに応じて行った活動で、尾道、春日井、掛川などの地域SNSが連携参加しました。

今回の活動は二つあり、一つは盛岡の地域SNSモリオネットが企画した被災地の子どもたちに学用品を送る「学びプロジェクト」の支援。もう一つは山武SNSが企画した千葉の被災地への生活物品などの支援です。

「かちねつ」と「サイト」を通じて840名の登録メンバーに呼びかけ、他のネットや口コミで伝えていただいた結果、10日間でそれぞれの地域に向け多くの救援物資が届けられ、物資運送用の費用も募金していただきました。

中には遠く長野県などから送られてきた物資もあり、改めてネットの威力を感じたところもあります。

また、会員の一人が地場産の北星鉛筆を贈ろうと会員コミュニティで呼びかけたところ、あつという間に予定数に達してしまいました。しかも工場のご好意で半額にしておまけまでつきました。

集まった物資は、最終日の31日にかちねつとメンバーのボランティアの手も借りて仕分け・整理・梱包を行い、2地域に向けての救援物資は計24箱になりました。

そして山武向けは4月4日配達で現地へ。また盛岡向けはプロジェクト参加SNSの本拠地である尾道、姫路、春日井、葛飾、盛岡の「村次ぎりレ」で4月8日に葛飾出発、9日に現地に無事到着しました。

最後に、このたびの被災地支援活動に携わっていただいたかちねつとメンバーや各地域SNSメンバーや関係者に心より御礼申し上げます。

また、事務所等での活動の軸となってもうったユニコムかつしかの総務担当、物資提供や募金に応じていただいた会員の方々にも厚く感謝いたします。ご協力有難うございました。

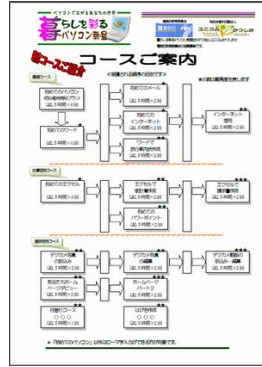
「暮らしを彩る。パソコン教室」

名称を改めリニューアルスタート!

葛飾区との協働事業として発足して以来7年目を迎えた「暮らしを彩る」講習会は、新年度より、名称を親しみ易く、より内容が分かり易いように「暮らしを彩るパソコン教室」に改め、これまでも増し気持ちを新たにスタートしました。

受講者の皆様により興味を持っていただける親しみ易いパソコン教室創りを目指して、これまでのコースやカリキュラムを一新、新しいコースには趣味向けの楽しむコース(月替りメニュー)をリニューアルの目玉として設けました。

また、コースの全容を紹介した「コースご案内」チラシを新たに作成して、コースの難易度や受講される順序、講座内容などを分かり易く

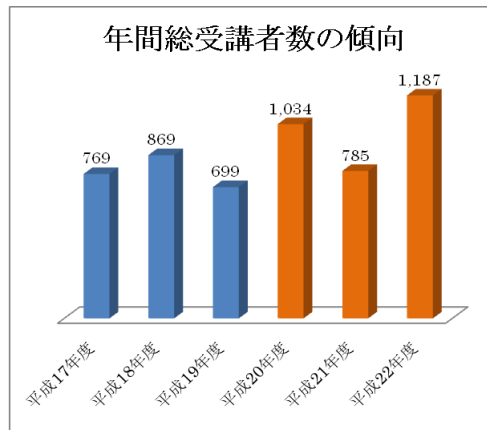


お伝えできるようにしました。このチラシを各会場に配備すると共に、過去1年間の既受講者600名ほどに名称変更並びにリニューアル紹介の挨拶状を添えてダイレクトメールで皆様にご案内しましたので受講者のガイドブックになり、きつと興味を持っていただけたと思います。その他、初心者の方々がパソコンをこれからはも続けて行っていたために「初めてのパソコン」コースの中に「講座

のご案内」のカリキュラムを設け、コースの進み方などを分かり易く手助けできるようにしました。

このようにして、10講習会企画運営スタッフを中心に魅力あるコースの企画検討に取り組みました。そして、受講者からの要望にお応えできるかたちで新たにスタートすることができましたので、リニューアルの効果が表れ受講者の増加に繋がることを期待しています。

22年度の受講者数は1187名で、21年度の785名に対して5割ほどの増加となりました。前年度に於いても実施してきた種々施策の効果の表れであり、受講者が興味を持つ講座を多く企画していくことが今後重要であることを改めて感じました。



23年度は年間受講者数1400名(月平均116名)を目標に掲げて、取り組んでいきます。前年度の15%増加の目標ですが、東日本大震災の影響による自粛ムードも心配される厳しい市場状況にありますので今後、PRの工夫などを進めて需要の掘起しに繋げていく必要があります。

また、「遊びながら、創りながら、楽しみながら」をモ

ットーにアドバイザーも協力し合ってパソコン教室の魅力を高める努力を図り、教室を盛り立てていき受講者の増加に繋げていきたいと考えています。

お知らせ

- 東日本大震災被災地支援
3月22日～31日、地域SNS連携プロジェクトとして盛岡、山武向けの救援物資や募金の受付を行いました。皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。(一面参照)
 - 日商PC検定試験(4月)
興水直人様がデータ活用ベーシックに合格されました。おめでとうございます。
 - 職業訓練PC講座(4月5日～7日)
市民活動支援センターで行われているヘルパー資格取得の職業訓練講座でワードやエクセル等のPC講座を行いました。参加アドバイザーの方、ご苦労様でした。
 - シニア情報生活アドバイザー資格更新セミナー
第1～3期、9～10期生を対象に5月14、15日に行います。(詳細は別途お知らせ)
- お問合せはエコムかつしかまで
Tel/FAX 03-6905-8080
E-mail info@uc-knet
Web Site <http://uck80.com>

パソコン使ってますか？



■パソコン豆知識■

【2つの文書を比較して違いを見つける】

自分が作成した文書を他の人に編集を依頼する場合があり、こういうケースでは、元の文書との違いを確認したいと思つときがあります。メールや電話で問い合わせさせて確認する手もあるけれど、ここではその作業をWordの機能を利用して実行してみましよう。

現在、自分が作成した元の文書を開いているとしたら、「校閲」タブから「比較」グループの「比較」ボタンをクリックして「比較」を選ぶと「文書の比較」ダイアログボックスが開きます。

ここで、「元の文書」と「変更された文書」に、自分が作った元の文書と他の人が編集した文書を指定する。例えば、「元の文書」を指定する場合、テキストボックス横の「▼」をクリックして、一覧から元の文書のファイル名を選択する。一覧になければ、その中から「参照を選んで、元の文書を指定すればよい。「変更された文書」も同様です。

「元の文書」と「変更された文書」の設定ができたら、「OK」ボタンを押します。すると、4つのウインドウが現れます。左にある「概要」ウインドウには、修正した箇所が一覧になる。「削除 root」5」というのは、「root」という編集者が「5」を「削除」したことを意味する。また、次の「挿入 root」3」は、同じ編集者によつて「3」が挿入されたことを意味している。

では、この「挿入 root」ををクリックしてみよう。右にある「比較結果文書」ウインドウに、その箇所が表示される。これを見ると、「5」には取り消し線が引かれ、代わ

りに下線付きの「3」が示されている。いずれの文字も色が変わつて強調表示になっている。これは、「5」を「3」に書き換えたことを意味しています。他の修正箇所も、色を変えて取り消し線や下線が引かれているので、他人の編集内容が一目瞭然と確認できます。

このように文書を比較すれば、修正箇所が適切かどうかを判断しやすくなります。

■パソコンクイズ■

エクセルの問題。表示形式を使わずに、計算式に使える分数の入力方法は？ たとえば、「2/3」と表示してこれに「36」を掛けたら答が「24」と、計算されるようにしてください。

会員以外の方も回答できます。左記アドレスまでメールにてお送りください。正解者の中から抽選で1名様にUSBメモリーをプレゼントいたします。

×切り4月25日 アドレス・ peq@uc-knet

【前回の問題と正解】
（問題）ワード 2003 の場合、「ひらがな」と「カタカナ」が混在している文字（例えば、バナナ・みかん・ブドウ・りんごなど）を、一気に「ひらがな」に統一（変換）する。但し、ファンクションキー「F6」または「変換」キーは使わない方法で答え下さい。

（正解）混在した文字列を選択し、「ホーム」タブ「フォント」グループ「文字種の変換」ボタン「A」を押して、メニューから「ひらがな」を選択する。

◆当選者発表◆

正解者多数の中から抽選により葛飾区にお住まいの長谷川美江子様へUSBメモリーを差し上げます。おめでとうございます。

惜しくも抽選に外れた方は再度挑戦願います。



ふれあい

最近流行のパワースポットが、私の好きな上野の山には沢山ある事で有名です。「上野のお山」は「比叡山」、「不忍池」は「琵琶湖」に見立てたらしい。五重塔、清水堂、弁天堂、全て比叡山に見立てられています。寛永寺は三代將軍家光の命で天海僧正が建立し名前も「東叡山寛永寺」東の比叡山の意味だそうです。家光の母は今の大河ドラマの江です。東照宮といえど日光が有名ですが他にも久能山、世良田等たくさんありますが、上野の東照宮は家康、吉宗、慶喜が眠っているパワースポットであります。

大佛パゴタは関東大震災で頭部が落ち、現在では頭部のうちお顔だけになっており、これ以上落ちようがないということで、受験シーズンには受験生のパワースポットになっていそうです。健康祈願持病のある人は五條天神社、金運を願う人は弁天堂に参拝。上野のお化け灯籠は日本三大灯籠です。上野の地に公園を築くことを提唱したボードワン博士の像、西南の役の西郷隆盛の像もあります。待ち合わせ場所としても有名です。

桜の時期には公園から不忍池までぐるりとまわると見ごたえがあります。動物園は西園と東園に分かれていて多くの珍しい動物が見られます。そうそう、今年はパンダもやってきて、家族連れで益々賑わいそうです。また、東京国立博物館や国立科学博物館等の常設展と企画展等は一年中楽しんで元気になれる所です。体力と興味とお時間のある方は訪ねてみてはいかがでしょう。

（松田 順子）

最近の活動から

■新年度の活動始まる

2面 で伝えた「暮らしを彩る。パソコン教室」以外の事業も4月から新しいスタートを切りました。「障害者パソコン講習会」「シニアのためのパソコン教室」もそれぞれ昨年度の経験を活かしながら新年度の講習会を始められています。「シニア情報生活アドバイザー養成講座」は6、7月と10、11月の2回計画し、ウインドウズ7の環境のもとで行う予定です。

「地域SNSかちねっと」の登録は昨年度末で841名、今年度で1000名を達成したいと思います。

「区民がつくる葛飾百科」は現在中央図書館にてサイト公開の準備中。新年度ではサイト数を増やすとともに、今年度には図書館検索システム用のメタデータ作成などの新業務も行うこととなります。

以上の諸事業は総額約1千万円の見込み。これに個人向けのPCレッスン・サポート、日商PC検定、職業訓練PC講座等の自主事業が加わります。これら自主事業の拡大が収支安定化にとって重要であり、そのためには広報活動の充実や新たな課題を見つけて事業開拓に結び付ける企画力も必要となります。

また、こうした種々の事業活動を支えるためのスタッフ業務や事務所の当番業務もますます大事な会員活動になってきます。

新年度の各事業活動のスタートに際し、会員並びに関係者の一層のご協力をお願いする次第です。

■役員候補選定のルール化

前号で今年度は役員改選の年にあたることをお伝えしました。役員任期は定款で2年と定められ、NP O設立後3回目の改選となります。

これまでのところ、理事の顔ぶれが固定化して任期も長くなる傾向にあり、この状態が続くと組織の活性化にも影響が出てくるのが考えられます。

そこで昨年度の会員総会において理事定員10名のうち3名は新しい理事を選任する規程の作成が提案され承認されました。

規程の内容はすでにお知らせしたように、年次別に会員を3グループに分け、それぞれから理事候補1名を推薦してもらい他の理事候補と合わせて総会で承認を得るといふもの。今回のグループ分けは①2006年設立時の入会会員、②設立後と07年度の入会会員、③08年度と09年度の入会会員としましたが、会員数のバランスを考慮しながら役員改選の都度見直ししてゆきます。

NPO法人として活発な活動を継続していくためには、こうして組織の新陳代謝を積極的に図っていくことも重要と考えています。

ぜひ会員各位のご理解をいただき、理事候補の選定並びに選任された理事の方々へのご協力をよろしくお願いたします。

総務担当より

事務所は会員活動の拠点、みんなの財産！
当番へのご協力よろしくお願いたします。

★事務所を清潔に、居心地のよい場所に！

会員募集中！

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコン指導者の養成や、個人レッスン、出張サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンが一般1時間1500円から会員1200円になるなど、割引料金になります。

IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ！

- | | |
|---------------|------------------|
| ■講習会 | ■指導者養成講座 |
| ・暮らしを彩るパソコン教室 | ・シニア情報生活アドバイザー |
| ・たつみ憩い交流館講習会 | ■個人レッスン(於:事務所) |
| ・ウェルピア講習会 | ■訪問サポート・訪問レッスン |
| ・白鳥福祉館講習会 | ■Web・機関誌等制作支援 |
| ■地域 SNS かちねっと | ■ユニコムかつしか交流教室 |
| ■区民がつくる葛飾百科 | ■日商 PC 検定講座・試験実施 |

編集後記

「あつ、地震」の声に始まった東日本大震災。戦後六十数年またもや味わう悲惨な生活。二度と味わうものかと心に誓った人達も高齢化し風化しそうな折に、まさか巨大な津波が襲うとは、まさか原発事故をも引き起こすとは……誰が想像しただろうか、そして誰に非難を向けたらよいのだろうか。今までの幸せな生活を奪う権利が何処にあるのだと天を睨んでみる。あれからもはや一ヶ月、今日もまた余震は続いている、あの時同様、みんなで力を出し合って新しい日本を築きたいものである。(芳)